

# 草加市倫理法人会(7月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。  
会社が良くなる。  
不況に負けない。

七月七日(木) 第九五七回  
 ◇ 講師 日向 俊夫 埼玉県倫理法人会 幹事長  
 三和ペイント 代表取締役  
 ◇ テーマ 「八〇年の地球旅行」



「たった一度の人生をどのように生きれば悔いが残らず幸せに過すことができるか」私の幸せの定義は「やりたい事を楽しくやる」である。幸せのために自分の心をどのように持つかが大切だと思ふ。それは「俺は出来ない」から「俺は出来る」と思考を変えること。そのためには、成功体験(プチ体験で良い)、代理体験(仲間などから得る)、言語的説得(褒める、承認する事)生理的情緒的な高揚など自己の効力感が必要だと思ふ。私自身これまでギターのプロになろうと思ひ先生につき熱心に練習した。また、ある時からスキーのプロになろうと。そしてトライアスロンに魅せられて熱中した。プロにはなれなかったが達成感を感じている。「人生八〇年の地球旅行」「やりたいことを楽しくやる」で幸せな人生を過したい。

高橋 茂行 記



七月十四日(木) 第九五十八回  
 ◇ 講師 岩井 一夫 埼玉県倫理法人会 東南地区長  
 三共テクノ(株) 代表取締役  
 ◇ テーマ 「倫理で運力アップ」



東南地区長を受けた時、どうやって倫理の普及をしたらいいか考えた時に映像で見せることが一番いいと思ひ、ビデオを作り出席率・会員数で埼玉県トップの草加をモデルにしました。ビデオの中で、倫理法人会に入って一番いいところは会社の中の現場で働く人も「職場の教養」を使ってやっていく事、そして倫理指導は顧問弁護士が三百人いることと同じであるほどのメリットがあるにもかかわらず、月会費一万円であるということですが会員を増やすにはどうしたらいいか、それは倫理に入ることです。市内の会社を訪問したり、知人やご紹介者にも話をしなければならぬ。そして一人でも多くの人に倫理の良さを広めていきたいと思ひます。



吉岡 明夫 記

七月二十一日(木) 第九五十九回  
 ◇ 講師 佐藤 光央 (一社) 倫理研究所 法人アドバイザー  
 サトウ自動車工業(株) 代表取締役  
 ◇ テーマ 「継続は力、私の実践」



万人幸福の葉の十七ヶ条の中に書いてあることで、ほとんど私たちの身の回りの問題は解決できるようになっているが、それには実践力がなければいけない。ただ、やればいいのではなく、まず足下の小さなところから実践していくことが大事です。それは第一に家庭です。夫婦、家族が上手くいかなくて、他人である社員とのコミュニケーションがとれ、会社が良くなるわけがありません。私は妻の言うことはすべて「はい」と言っ受けて入れています。相手の言い分をよく聞き受け入れるようになれば家庭はうまくいき、今度は会社を良くできるような力で実践できる。そしてその後は地域社会に貢献していく実践をしていくことが大切です。

吉岡 明夫 記



七月二十八日(木) 第九六十回  
 ◇ 講師 山崎 聡亮 埼玉県倫理法人会 研修委員長  
 (株) 山崎工務店 代表取締役社長  
 ◇ テーマ 「心が決める」



人は皆幸せになりたい、何かを達成したい、しかし苦難は人生の中で避けて通れません。合格するも不合格になるも、あるいは試合に勝つも負けるも、成功するも失敗するも同じこと、表裏一体ではないかと思ひます。人の考えは得てして二元的に考えて「自分は勝ったんだ、自分は負けてしまった」とどちらかに考えがちですが、負けても心、気持ちの在り様が効果的に働いて、負けや失敗しても心の在り次第で次の時に生きていきます。それもよし、負けもよしと考えるのも一つの手ではないかと思ひます。

テーマの「心が決める」という事で、心が負けと感じた時に負け、苦難と感じた時に苦難となり今日一日を楽しむ過ごせるのも心の在り次第です。楽しい日々を積み重ねて明日の良い日を迎える事ができるのではないかと思ひますので、ぜひ実践して下さい。

小澤 章弘 記

